

ギアロック希釈装置

CL-3000

取扱説明書

注意

本製品の取付工事は技術的に充分理解した方が行ってください。又、本書を良く読み内容を充分理解してから作業を行ってください。これらの有識者以外の工事は、避けてください。


目次


	ページ
安全上の注意	1~2
概要	3
仕様	3
各部名称と外形寸法	4
設置方法	5~8
本体取付手順	5
給水配管の接続	5
各種ホースの接続方法	6
配線方法及び系統図	7
基板各部の名称と設定方法	8
使用方法	9
薬液供給ポンプのチューブ交換作業方法について	10~11
トラブルシューティング	12
保証とアフターサービス	13
保証書	14

安全上のご注意

★必ずご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

◎この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

(※1) 重傷とは、失明やケガ、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期通院を要するものをさします。

(※2) 傷害とは、治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

(※3) 損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げる物です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げる物です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制)が描かれています。

警告



装置に水(液体)をかけない

装置に水をかけたり、濡れた手で操作をしないでください。故障したりショート感電の原因となります。



点検やお手入れを行うときは電源を切ること

装置の点検やお手入れを行う時は、必ず電源を切ってから行ってください。感電や、回転部への接触による事故の原因になります。



分解や修理、改造はしない

当社が指示した項目以外の分解、修理、改造はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。



電源、信号の電圧は表示された電圧で使用すること

入力電圧は、規格内の電圧でご使用ください。それ以外の電圧を使用すると火災感電の原因になります。



異常時には電源を切ること

万一、煙がでる、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。この場合すぐに電源を切り修理をご依頼ください。



ガス中での使用はしないこと

可燃性、爆発性のガスまたは蒸気のある場所では、本装置を動作させないでください。火災、爆発事故の原因になります。

警告

液体容器の交換、及びサービスの際には保護具を着用する



液体容器の交換、及びサービスの際に肌や衣服に付着しないようご注意ください。特に目や口に洗浄剤が入らないように、ご注意ください。万一液体が肌や目に付着した場合、流水で速やかに洗い流し、医師の手当を受けてください。



作業時は必ず保護メガネを着用すること。



作業時は必ず保護ゴム手袋を着用すること。



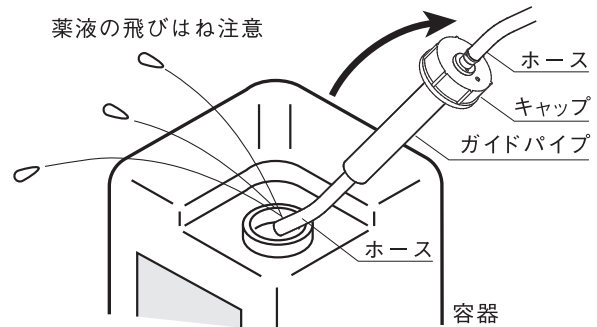
作業終了後は必ず手を良く洗うこと。

薬液容器の交換、及びサービスの際には液の飛びはねに充分注意する



液体容器の交換、及びサービスの際、キャップを開けるときのや、薬液のガイドパイプを抜く時に薬液の飛びはねには、充分注意してください。目や皮膚に付く恐れがあります。また、容器を移動するときはキャップをしっかり閉めてください。

薬液の飛びはね注意



注意



配管ホースには傷をつけない

蒸気配管、ホースが傷つきそうな所、作業によって傷つけられそうな所には設置しないでください。また、ホースの取扱いは、慎重に行ってください。



定期点検を実行すること

本装置の安全及び性能を保つために、定期点検、及び清掃作業を実行してください。



ポンプチューブは消耗品です

ポンプチューブは消耗品です。劣化すると、正しい希釈ができなくなります。性能を保つために定期的な交換が必要です。交換に関しては、本書の内容を充分理解した方が、作業するようにお願いいたします。管理者は本装置の内容を理解していない者に作業させないでください。

使用上の注意

- 必ず原液（5～6%規格）のジアノックを使用してください。ジアノックは保管状態により異なりますが、未開封状態であっても長期保管する事により濃度が低下します。開封後はさらに変化量は大きくなります。仕様記載の精度は原液が変化しない条件での値です。
- 本装置の精度を確保するためには、設置後の初期補正の設定が必要です。また設置後も、定期的なメンテナンスと校正作業を行う必要があります。仕様の精度は徹底管理した上で確保出来る値です。フリーメンテナンスの商品ではありません。
- 使用圧力範囲は動作時0.25MPa及び、停止時0.5MPaを越えない範囲でご使用ください。特に、停止時の圧力が上記値を超える場合、電磁弁が動作出来ない場合があります。その場合、給水部にオプション品の止水栓付減圧弁（250kpa仕様）が必要となります。
※部材コード：86385、部品名：止水栓付減圧弁（250kpa仕様）
- 希釈液吐出口は閉鎖又は、口径を狭くする等の行為は行わないでください。水漏れの原因となります。
- 商品及び、取扱説明書に記載されている100mg/L(ppm)、200mg/L(ppm)の表記は呼び名としての記載であり数値を保証するものではありません。保証値については仕様の記載内容に基づきます。

概 要

「CL-3000」は定流量弁&電磁弁&高性能チューブポンプを新開発のケーシングに実装
給水配管の水圧や水量にほとんど影響を受けることなく、ジアノック(原液:5~6%)を
倍率計算により100mg/L(ppm)/200mg/L(ppm)に希釈する装置です。

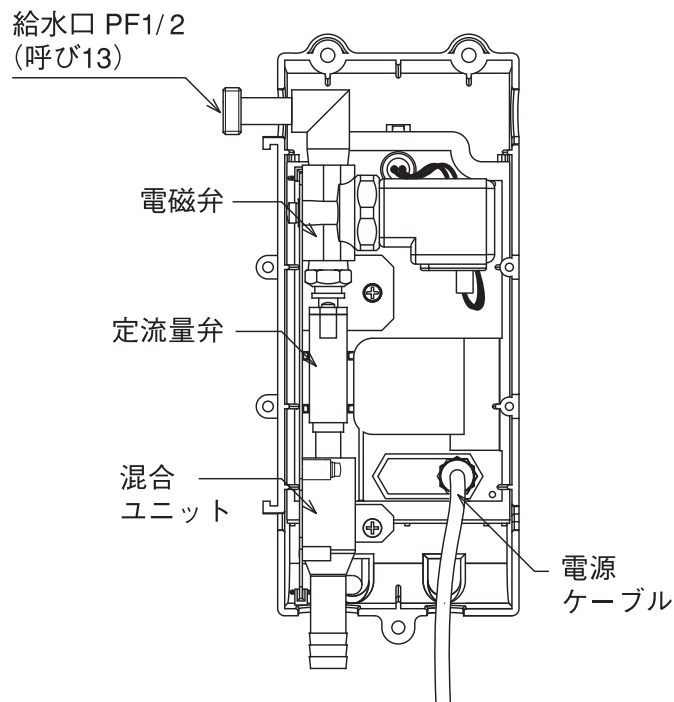
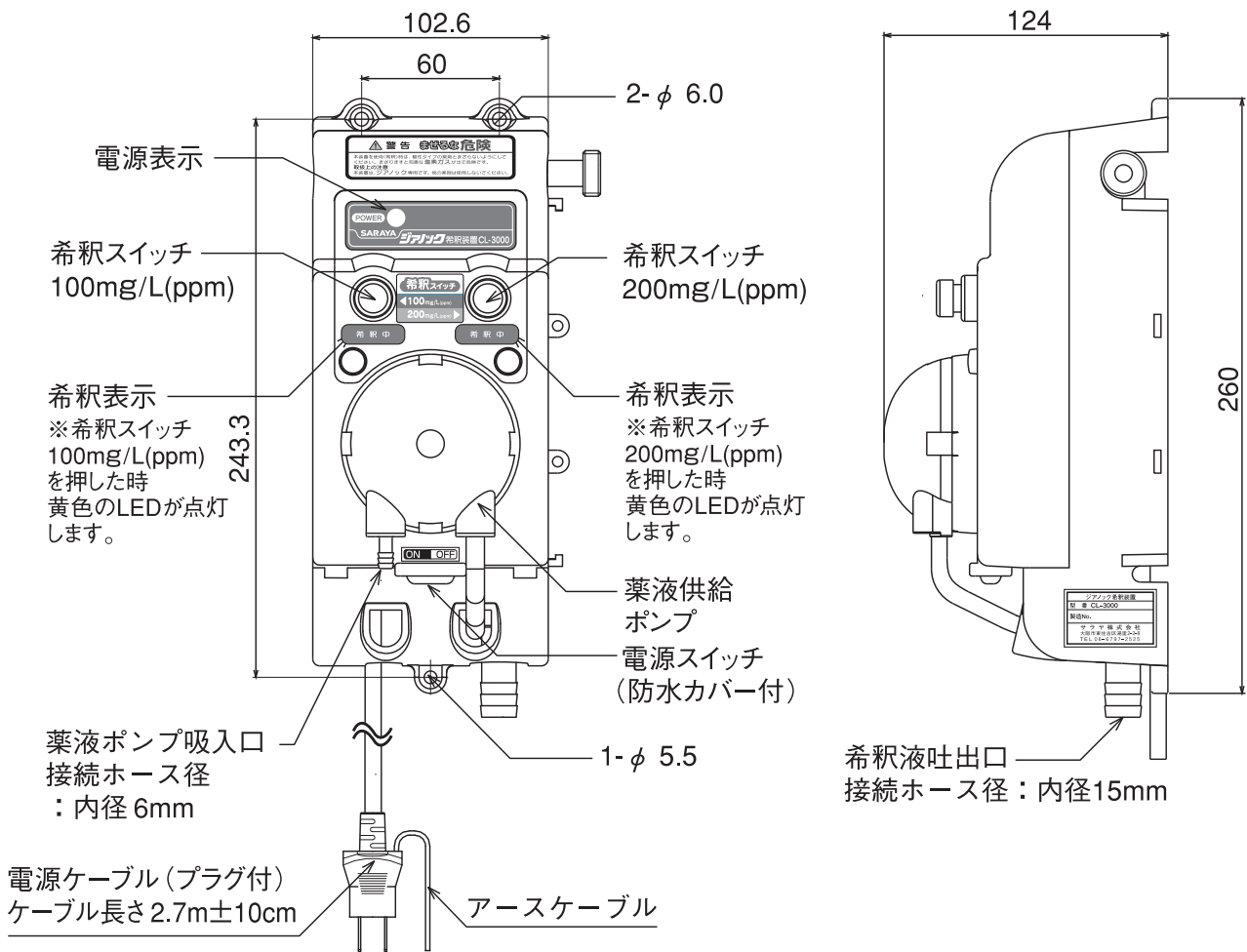
仕 様

仕 様	100mg/L(ppm) / 200mg/L(ppm)
型 番	CL-3000
使用電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	32VA以下
吐出流量	約8.5L/min
ポートフィルタ付電磁弁	VCB31-5G-5-03-X162 (ポートフィルタ付)
薬液用ポンプ	WP1000-J4.8S-WT6
使用圧力範囲	動作時: 0.15MPa~0.25MPa MAX (精度維持範囲) 停止時: 0.5MPa MAX
補正希釈設定範囲	±12%以上 (基準値に対して) (原液が6%である事が前提)
繰り返し希釈精度	-15%~+15% (設定値に対して) (但し原液が変化しない事が前提で5L以上の液量にて計測した場合)
吐出量タイマー	約10L~100L (10Lステップ)
最大使用水温	5℃~40℃ (凍結のないこと)
最大使用液温	5℃~40℃
使用温度範囲	0℃~40℃ (但し、氷結しないこと)
使用湿度範囲	20%~85%RH (但し、結露しないこと)
推奨取付高さ	MAX2.0m
接続ホース径	薬液吸入口: 内径6mm
	給水口: PF1/2 (呼び13)
	希釈液吐出口: 内径15mm
重 量	1600g

◆ 梱包内容

1	CL-3000本体	1台
2	5kgキャップ穴あき	1個
3	キャップ継手	1個
4	吸入口ホース (PVC仕様)	2m
5	インシュロックタイ (フッ素仕様)	3個
6	吐出ホース (PVC仕様)	1m
7	ホースバンド (SUS仕様)	1個
8	ホース収納ケース	1個
9	トレイ	1個
10	給水パッキン	4個
11	給水メッシュ	1個
12	メッシュパッキン	1個
13	ビス袋セット (呼び4.5×25、3個入)	1袋
14	ビス袋セット (呼び4.5×25、2個入)	1袋

各部名称と外形寸法



設置方法

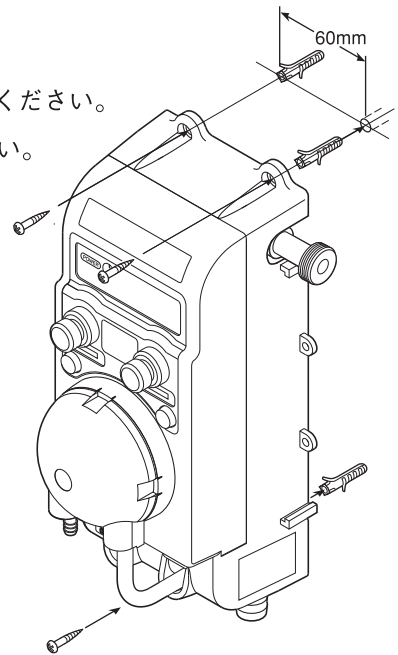
本体取付手順

◎取り付けを始める前に次の項目を考慮に入れ取り付け位置を選定してください。

- ・吸い上げ高さは最大2.0mです。それ以下の場所に設置してください。
- ・水等の液体が直接かからない場所へ設置してください。
- ・作業の邪魔にならず、調整やサービスがやりやすいように取り付けてください。
- ・湯気／蒸気、熱源からできるだけ離して設置してください。

◎供給装置本体を右図の様にネジ3本で固定します。

注意：取付部は樹脂で構成されています。電動工具を使用する場合、締め付けトルクを強くしすぎないように注意してください。取付部にクラックや破損の危険があります。



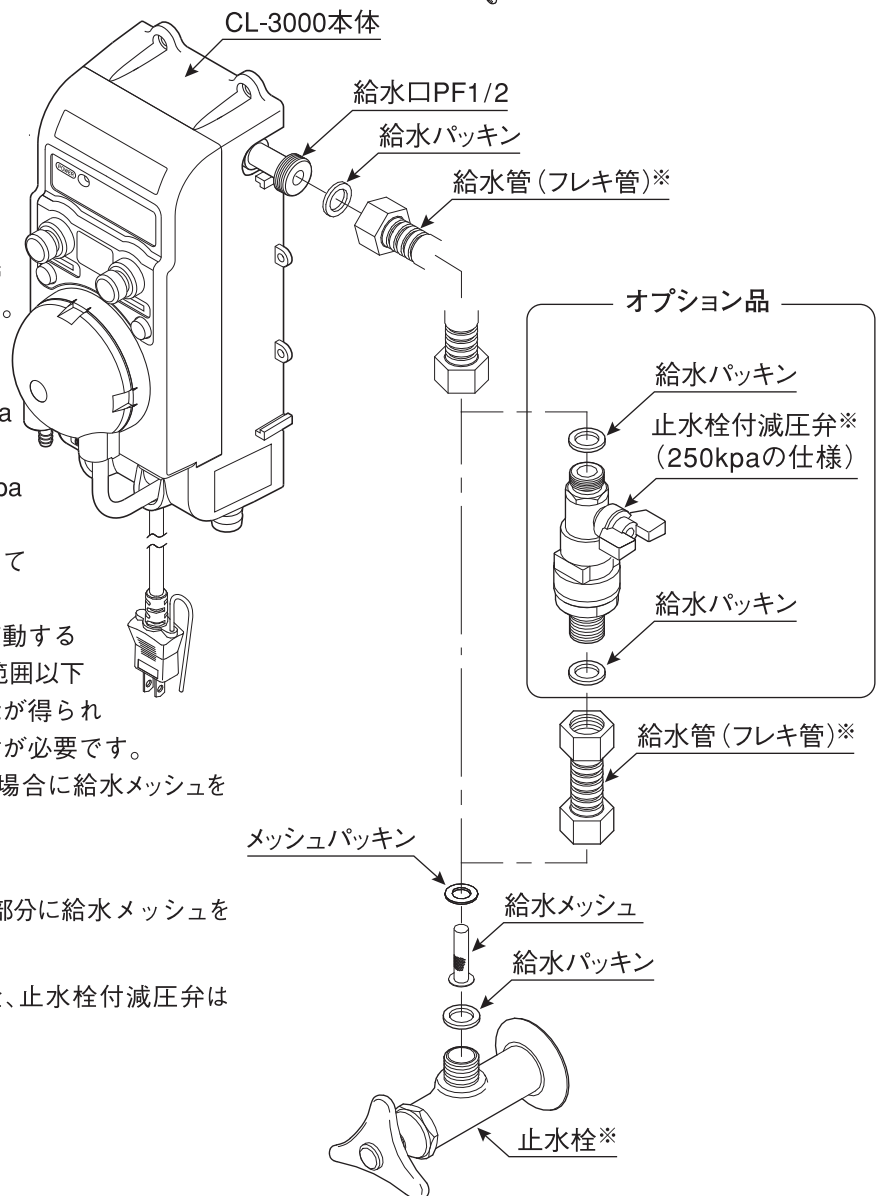
給水配管の接続

◎給水口PF1/2（呼び13）に給水管（フレキ管）※を接続してください。

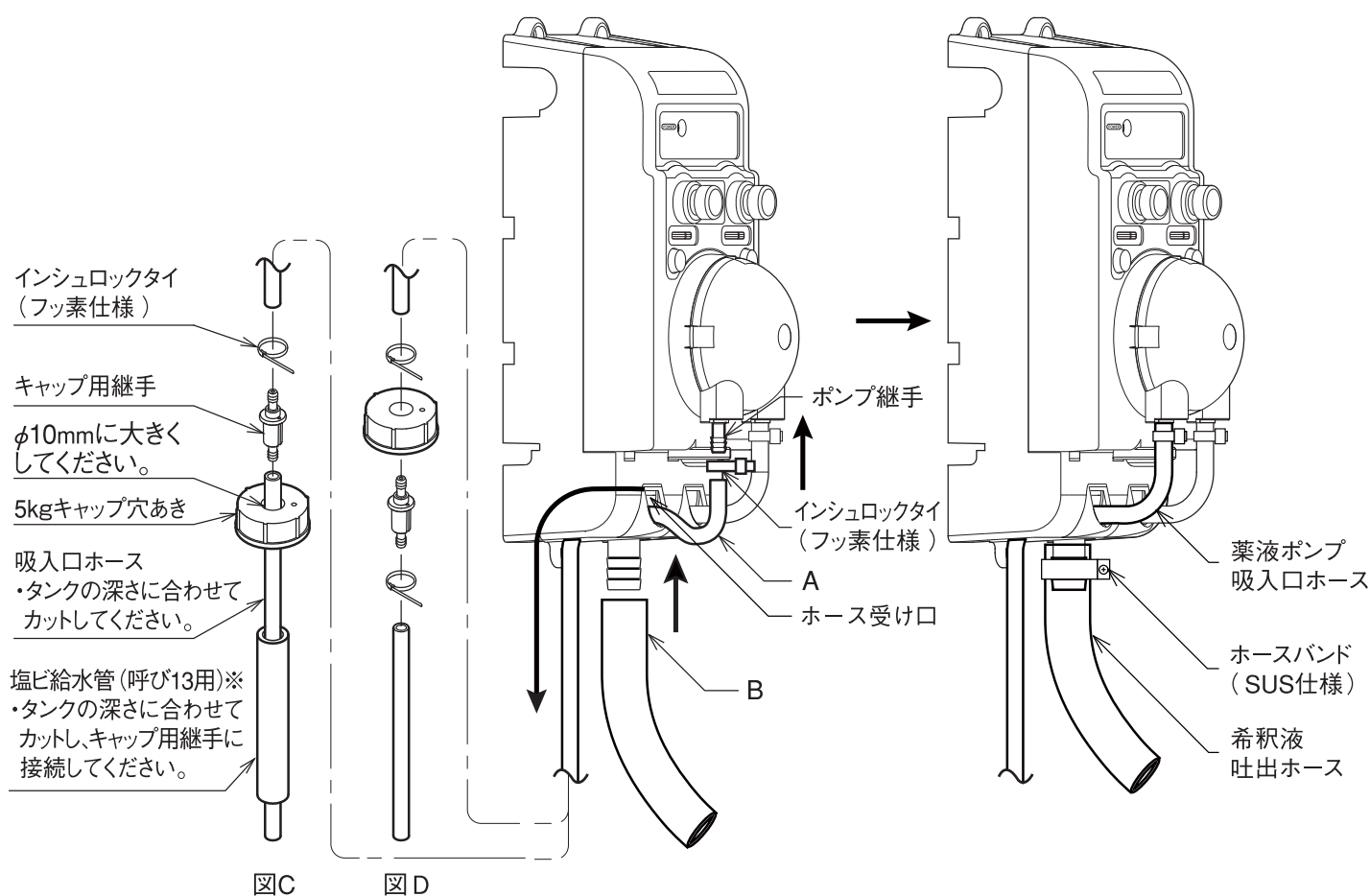
注意：接続時の注意

- ①設置場所の水圧が(0.25MPa以上)の場合は、オプション品の止水栓付減圧弁(250kpa仕様) 部材コード：86385 給水パッキンを必ず使用してください。
- ②設置場所の水圧がかなり変動する場合（装置の使用動水圧範囲以下：0.15MPa以下）希釈性能が得られません。給水分岐の再検討が必要です。
- ③給水配管接続時、分岐した場合に給水メッシュを必ず使用してください。
- ④給水配管接続時、分岐した部分に給水メッシュを必ず使用してください。

※印の給水管（フレキ管）、止水栓、止水栓付減圧弁は付属していません。



各種ホースの接続方法



A. 薬液ポンプ吸入口ホースの接続

- ◎蒸気配管、ホースが傷つきそうな所、作業者によって傷つけられそうな所には設置しないでください。又、ホースの取扱いは、慎重に行ってください。
- ◎吸入口ホースは、できるだけ短くコンパクトにして使用してください。

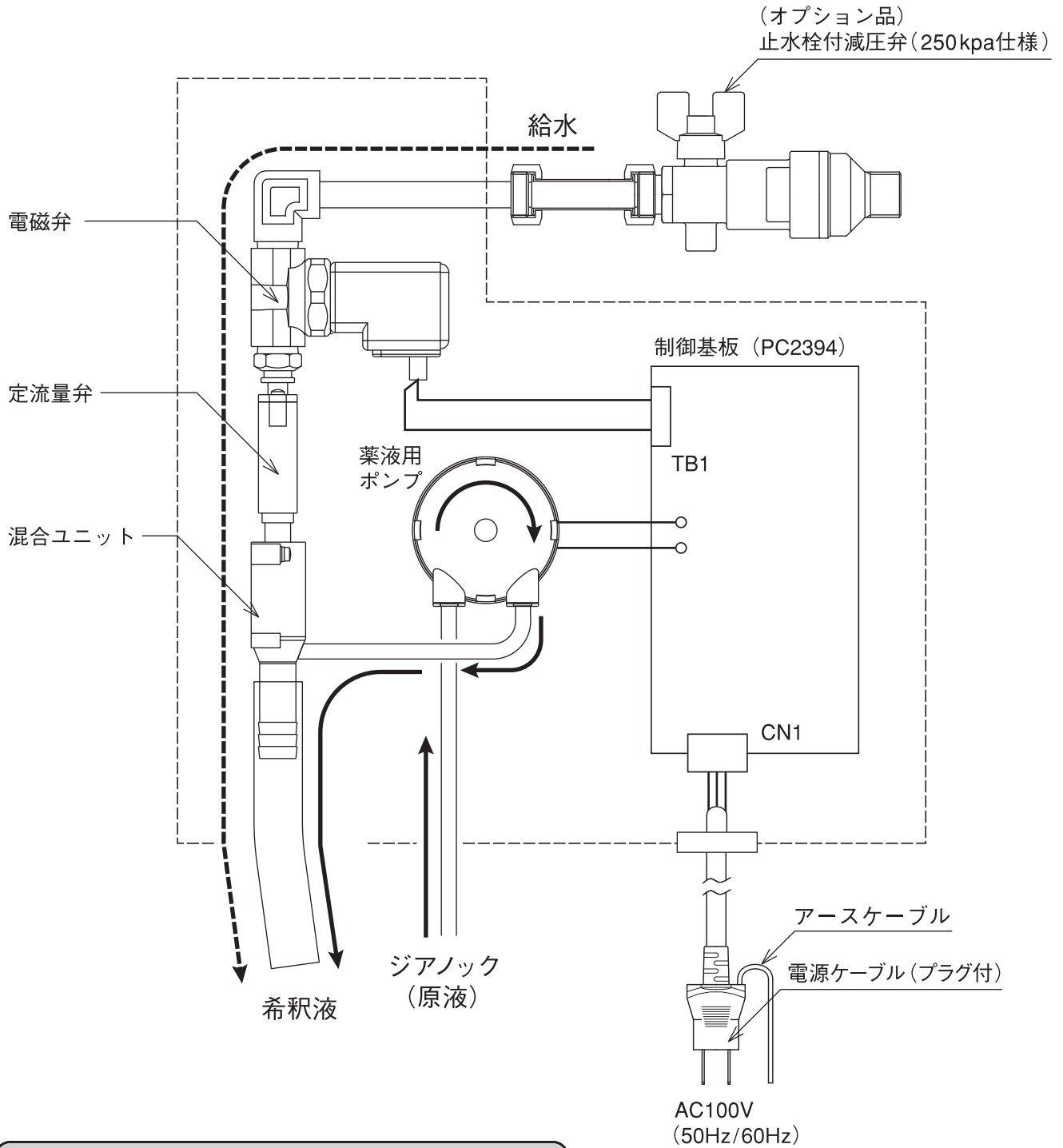
- ① 付属の内径6mmの吸入口ホース（PVC仕様）は薬液容器からポンプまでのホースを用意します。
 - ② 上図Aのようにホース受け口に通します。
 - ③ 吸入口ホースをポンプ継手にしっかりと差し込み、インシュロックタイ（フッ素仕様）で固定します。
 - ④ 薬液容器に接続する時は、上図のC又は、Dのように接続してください。
- ※印の塩ビ給水管（呼び13用）は、付属していません。

注意：上図Cのように接続する時は、5kgキャップ穴あきの穴径をφ14mmに大きくしてください。

B. 希釈液吐出ホースの接続

- ◎吐出ホースは、できるだけ短く（1m以下）してなるべく垂直状態に下がるようにしてください。その時、付属品のホース収納ケース・トレーを取り付けできる様でしたら、取り付けて使用してください。
 - ◎付属品の吐出ホース内に液が溜まらない様にしてください。又、ホースの口径を狭くする、閉鎖する、上下にループを描く等の行為は装置内の混合ユニットから水漏れが発生しますので、取付、ご使用の際には注意してください。
- ① 付属品の内径15mmの吐出ホース（PVC仕様）を使用してください。
 - ② ホースを希釈液吐出口にしっかりと差し込み、ホースバンド（SUS仕様）で固定します。

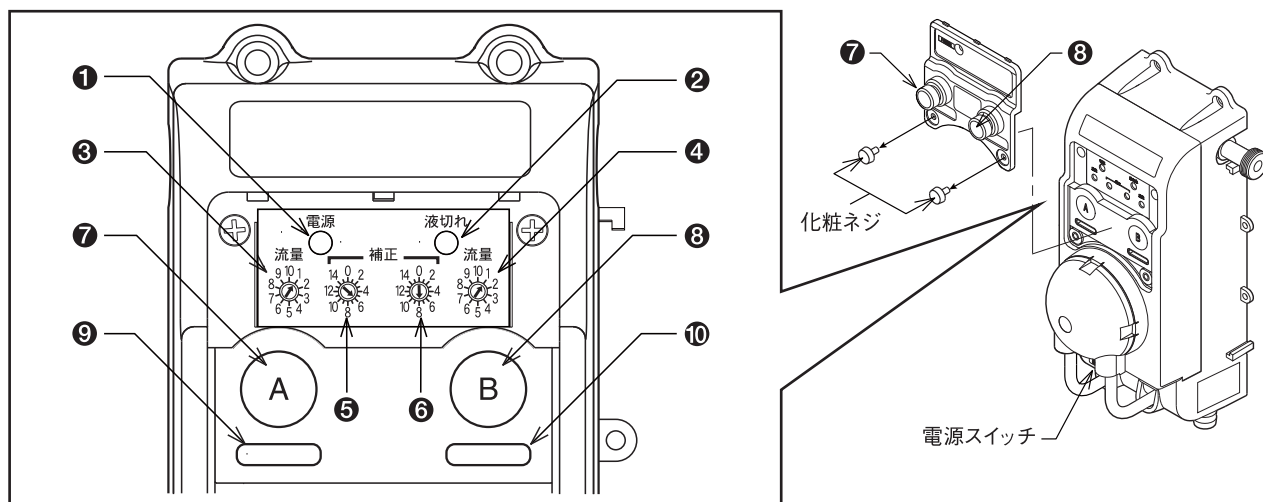
配線方法及び系統図



⚠ 警告

- ◎コンセントに接続する時は、CL-3000本体のON/OFFスイッチは、OFFであることを確認してください。
- ◎出来る限り、アースをとるようにしてください。

基板各部の名称と設定方法



1. 設定方法と注意

- ・本装置は工場出荷時に計算上の値に設定されています。精度を確保する場合、下記の手順で設定する必要があります。初期値は表記の値に近い設定になっていますが、保証値ではありません。
- a. 上記、図の様に前面化粧ネジを2本取り外し、操作パネルを取り外します。
- b. ジアノック（原液：5～6％規格）の容器をセットします。
- c. 装置を動作させ、吸引ホース・ポンプチューブ内のエアを完全に抜いてください。
エア抜き完了後、1分以上エージング動作を行ってください。
- d. 再度装置を動作させ、シンク等に5 L以上希釈液溜め、その液を計測します。
- e. 希望値になるように下記を参考に「流量」「補正」のロータリースイッチを設定してください。

2. 各部の名称と機能内容

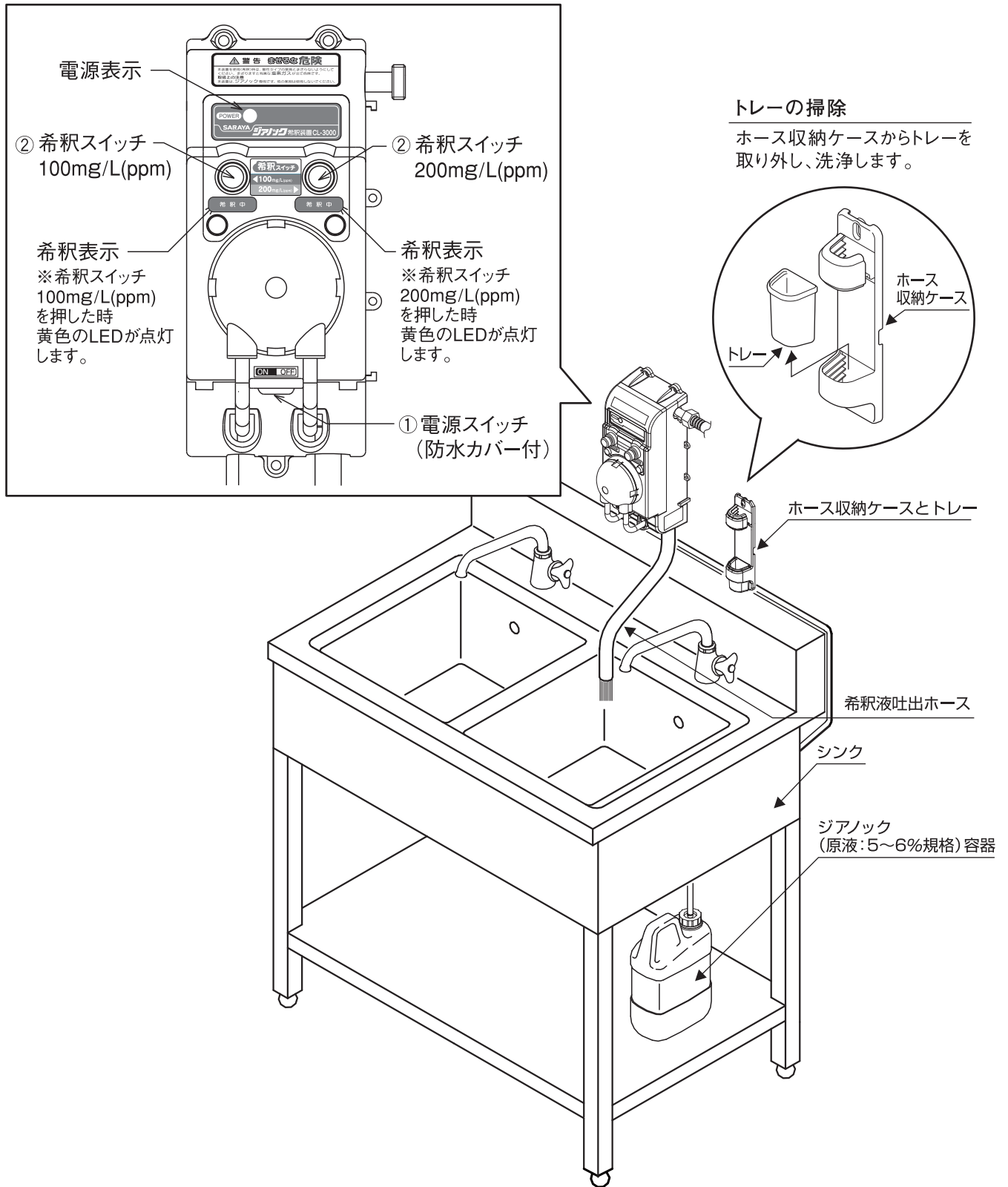
	名 称	内 容
①	電源表示	電源が「ON」状態で緑のLEDが点灯します。
②	液切れ表示	本装置には、「液切れ表示」機能はありません。
③ ④	A側「流量」設定 B側「流量」設定	約10 L～100 L（10 Lステップ）定流量弁の誤差により多少の変動が発生します。 ※1単位あたり＝67秒供給動作となります。
⑤ ⑥	A側「補正」設定 B側「補正」設定	基準値に対して－5％～＋20％（ジアノックが原液であることが前提）16ステップ ※目安の変化値は表1を参考にしてください。
⑦	A側「供給」設定	100mg/L (ppm) 希釈スイッチ
⑧	B側「供給」設定	200mg/L (ppm) 希釈スイッチ
⑨	A側「希釈中」表示	A側の供給時に黄のLEDが点灯します。
⑩	B側「希釈中」表示	B側の供給時に黄のLEDが点灯します。

3. 「補正」設定についての参考値〔表1〕

※ 部分が出荷設定値です。

回転数rpm (流量g/min)					
「補正」 ボリューム 設定値	A側設定 〔100mg/L(ppm)〕	B側設定 〔200mg/L(ppm)〕	「補正」 ボリューム 設定値	A側設定 〔100mg/L(ppm)〕	B側設定 〔200mg/L(ppm)〕
0	1.03 (1.7)	12.42 (20.7)	8	9.45 (15.7)	15.09 (25.1)
1	1.77 (3.0)	12.84 (21.4)	9	10.04 (16.7)	15.48 (25.8)
2	3.59 (6.0)	13.05 (21.7)	10	10.68 (17.8)	15.68 (26.1)
3	5.29 (8.8)	13.27 (22.1)	11	11.09 (18.5)	16.00 (26.6)
4	6.48 (10.8)	13.64 (22.7)	12	11.68 (19.4)	16.27 (27.1)
5	7.37 (12.3)	13.92 (23.2)	13	11.99 (20.0)	16.55 (27.6)
6	8.22 (13.7)	14.11 (23.5)	14	12.42 (20.7)	16.73 (27.9)
7	8.83 (14.7)	14.69 (24.5)	15	12.84 (21.4)	16.97 (28.3)

使用方法



- ① 電源スイッチを「ON」にしてください。電源表示が点灯します。
- ② 希釈スイッチ（100mg/L(ppm)又は、200mg/L(ppm))を押すと設定された流量が吐出します。
 - 希釈中に希釈を終了させたい時は、再度希釈スイッチを押してください。
 - 希釈中停電になった時は、「OFF」状態になり、希釈が止まります。
停電から復旧後は、運転待機状態になっています。

注意：希釈液吐出口は閉鎖又は、口径を狭くする等の行為は行わないでください。水漏れの原因となります。

薬液供給ポンプのチューブ交換作業方法について

ポンプをいつも最良の状態でご使用されるには、定期的なチューブの交換が必要です。
チューブの交換をおこたると、ポンプの性能の劣化につながり、トラブルの原因になります。

- ◎ポンプ内のチューブに“ヘタリ”“ひび割れ”がないかどうか月1回確認してください。
- ◎設定量に対し流量が20%減少したら、チューブの交換をしてください。

1. チューブ交換を行う前に必ず次の作業を行ってください

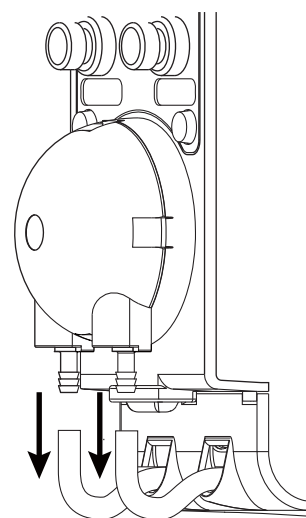
- ①液剤容器を外し、装置を数分間動作させ、管内を空にしてください。
- ②水だけの容器を装着し、数分間動作させ、管内を洗い流してください。

注意) 次亜の原液は装置本体ケース及びポンプ等の樹脂部・金属部には付着させないように注意してください。腐食、劣化の原因となります。

2. 配管ホースの取り外し

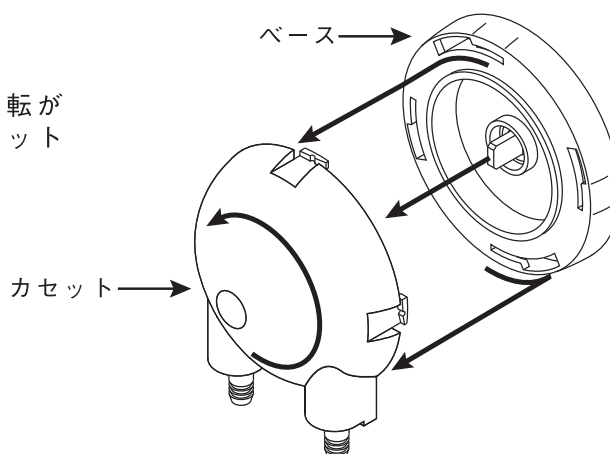
- ①電源を『OFF』にします。
- ②吸入側・吐出側ホースのホースバンド又は、インシュロックを外します。
- ③ポンプの継手から配管ホースを取り外します。

⚠ 液体の漏れに注意して行ってください。



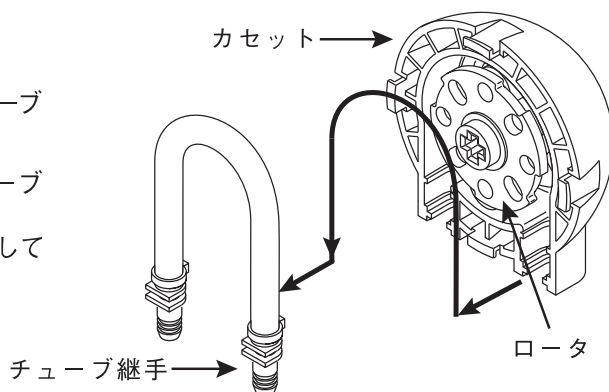
3. ポンプカセット部の取り外し

- ①カセット部を反時計方向に回し、回転が止まるポイントで手前に引くとカセット部が外れます。




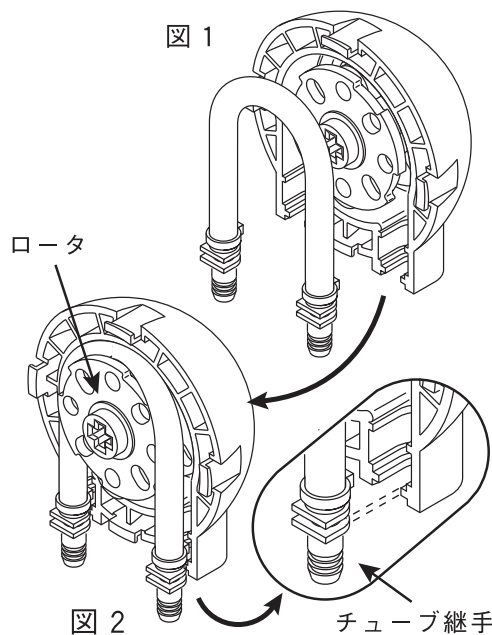
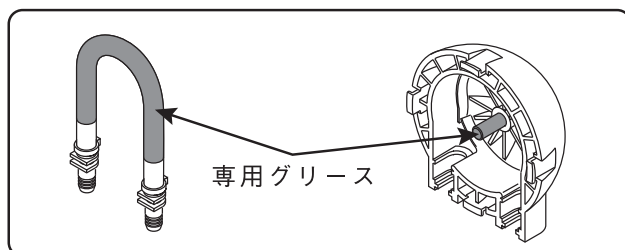
3. 旧ポンプチューブの取り外し

- ①片側の継手部を持ち、手前に引いてチューブ継手をカセット部から外します。
- ②つぎに右図の矢印の様に円を描く様にチューブを引くと簡単に取り外せます。このときロータ部が落下しないように注意してください。



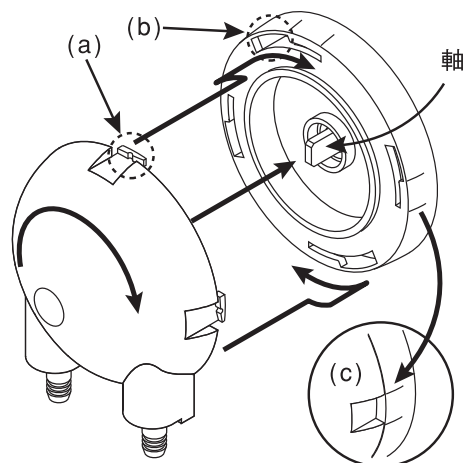
4. 新ポンプチューブの取付

- ①初めに下図の様にポンプチューブ及びカセットのロータ軸に専用グリースを塗ります。(下図の  部分)
 - ②ロータ部を多少手前に浮かせチューブを図2の様にはめ込みます。
- ※この時チューブ継手がカセットの継手固定部分の奥までしっかりと押し込んでください。



5. ポンプカセット部の取付

- ①カセット側ロータ軸穴とギヤモータの軸を初めに合わせます。
※この時回転が必要最小限になるポイントにしてください。
- ②カセットを回転させ(a)の位置と(b)の位置を合わせ押し込みます。
- ③カセットを時計方向に回し「カチッ」と音が鳴るポイントまで回転させます。
正しくロックされると図(c)の様にカセットのくぼみとベースのマークが一致します。



6. 配管ホースの取付

- ①9ページ-2で取り外した配管ホースを接続します。
- ②吸入口・吐出口ホースは、必ずインシュロック(フッ素仕様)で固定します。
- ③8ページ“基板各部の名称と設定方法”の手順にしたがい濃度の確認及び、設定を行ってください。

① 電源表示（緑）が点灯しない

- (a) 電源スイッチが「OFF」になっていませんか？
→ 電源スイッチを「ON」にしてください。
- (b) 電源プラグは正しくコンセントに接続されていますか？
→ テスターで電源が正しく供給されている事を確認してください。

② 希釈液の濃度が低い

- (a) ジアノックは空になっていませんか？
→ 新しい物と交換してください。
- (b) ジアノックの濃度が低下していませんか？
→ 製造年月の新しい未開封の物と交換してください。
- (c) 定流量弁がゴミ等の混入により正常に動作していない可能性があります。
→ 吐出流量が毎分 8 L～9 L 程度出ているか確認してください。
20%以上増加している場合交換が必要です。
- (d) 吸入側のチューブ継手に吸入口ホースがしっかりと差し込まれていますか？
→しっかりと差し込んでインシュロックで締付けしてください。
- (e) 吸入口ホースにピンホールや折れがありませんか？
→ 異常がある場合は、吸入口ホースを交換してください。
- (f) ポンプ内部のチューブに摩耗、破断等の異常がありませんか？
→ 異常がある場合は、ポンプチューブを交換してください。
- (g) 吸入口ホース、ポンプチューブに詰まりが、ありませんか？
→ 詰まりがある場合、水洗いをしてください。それでも取れない場合、吸入口ホース及び、ポンプチューブを交換してください。

③ 希釈液の濃度が高い

- (a) 給水側の水圧が規定より低くありませんか？
→ 低い場合、正しい動作が出来ません給水口の再検討が必要です。
- (b) ポンプチューブはなじんでくると流量が増加する場合があります。
→ 定期的に8ページに従って設定を行ってください。。
- (c) 定流量弁がゴミ等の混入により正常に動作していない可能性があります。
→ 吐出流量が毎分 8 L～9 L 程度出ているか確認してください。
20%以上減少している場合交換が必要です。

④ 動作させても希釈液（水）が出ない。

- (a) 止水栓のバルブが閉じていませんか？
→ バルブ等を完全に開いてください。
- (b) 停止時の給水部の圧力が規定値より高くありませんか？
→ 高い場合、オプション品の止水栓付減圧弁（250kpa仕様）を装着してください。

⑤ 内部から異音がする。

- (a) 動作時の給水部圧力が規定値より高くありませんか？
→ 高い場合、オプション品の止水栓付減圧弁（250kpa仕様）の装着又は、止水栓等のバルブにて減圧してください。

※以上の箇所を確認しても正常にならない場合は、修理を依頼してください。又、お問い合わせの際は、右枠のことがらを、お知らせください。本取扱説明書で不明な点は、当社のお問い合わせ窓口（P.13に記載）までご連絡ください。

型 名 製造番号 故障等の状態（できるだけ詳しく） 取付年月日 事業部名
--

保証とアフターサービス

保証について

- ◎裏表紙に保証書が付いています。
保証書に必要な事項をご記入のうえ、内容をご確認いただき大切に保管してください。
- ◎保証期間はご購入の日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- ◎保証期間経過後の修理については、ご購入の販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

アフターサービスについて

- ◎アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はご購入の販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。
※故障の場合は、ご購入日、本製品の型式と、できるだけ詳しい故障状態をお知らせください。
- ◎転居されるときは
ご転居により、ご購入の販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってご購入の販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。
ご転居先での販売店、もしくは最寄りの当社サービス拠点を紹介させていただきます。

MEMO



保証書



本製品は、幾多の検査、および品質管理を経てお届けしております。
お客様での正常使用の中で万一故障した場合には、この保証書記載内容にもとづき修理いたします。下記「お問い合わせ窓口」までご連絡ください。

その際には必ずこの保証書をご提示ください。
なお、この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※設置場所変更・ご移転の際には、事前に下記「お問い合わせ窓口」までご相談ください。

型 式	CL-3000		
製 造 No.	※「各部の名称」ページ参照		
保証期間	(ご購入日)	年	月
			日から 1年間

個人情報の「利用目的について」はこの枠内をご参照ください。

ご記入いただきました、お名前、ご住所、お電話番号等の個人情報は、保証期間内のサービス活動および、その他の安全点検活動などの為以外には利用いたしません。
詳しくは、<http://www.saraya.com/privacy> でご確認ください。お電話でのお問い合わせは、06-6797-3111個人情報担当（平日9時～17時）まで お問い合わせください。

フリガナ			
ユーザー名			
ご住所	〒	都道府県	市区郡
	TEL. ()	-	FAX. () -
ご担当部署		ご担当者	
設置場所			

保証規定

- 「取扱説明書・本体注意ラベル」などの注意に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
- 次の場合には、保証期間内であっても有料修理になります。
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障・損傷。
 - 納品後の移動・落下・輸送による故障・損傷。
 - 火災・塩害・ガス害・異常水圧・異常水質、および地震・雷・風水害・その他の天災地変による故障・損傷。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書に未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は、明示した期間および条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは「取扱説明書」などをご覧ください。
なお、ご不明な場合はお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

製品登録のご案内

当社では、お客様にお買い上げいただいた製品を末永く安全にご使用していただくために、製品登録へのご協力をお願いしております。

本誌または製品に記載のQRコードを、スマートフォンや携帯電話で読み取るか、パソコンから登録画面にアクセスして登録してください。

登録についてのご不明な点は、当社「お問い合わせ窓口（下に記載）」までお問い合わせください。

注意

製品に記載されている“型式”“製造番号”をご確認の上、画面の案内に従って登録してください。
なお、通信料はお客様のご負担となります。

スマートフォン、
携帯電話からの
登録



パソコンからの登録

<http://pro.saraya.com/support/>

サラヤ サポート

検索

お問い合わせ窓口

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8

TEL.06-6797-2525 URL.<http://www.saraya.com/>

電話受付:平日(土日および祝祭日、弊社休日を除く) 9:00~18:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。